

先日、大ローマ展の関連イベントとして鑑賞ワークショップ「ローマな1日」を3回に分けて開催しました。今回のプログラムは、鑑賞学習ワーキンググループに参加されている先生方の中からボランティアでご協力いただいた方と実施しました。その時の様子を少しご紹介します。

高校生対象の回「ローマ人のリアルクローズ」

ローマ人の衣服の一つにトガと呼ばれるものがあります。ローマ展には、このトガを身につけた人物像が展示されているのですが、高校生の回では、それに注目してどのように着ているか作品を見て想像し、実際に着てみるといったプログラムをやりました。



熱心に作品をみながらスケッチ中



トガは、8角形を半分にした形で、サイズが幅約1.5m×長さ約6mの大きな布です。



大きな布を身体に巻きつけ、着方を探っています。ぐるぐるに巻いてしまい歩きにくそうです。腰に巻いている紐は、当館の友の会の方々に作っていただいたものです。

中学生対象の回「タイルでモザイク」

タイトル通り、タイルを使ってモザイク画を作りました。ローマ展をじっくり鑑賞して、モザイクに挑戦です。小さなタイルを組み合わせて、様々な模様のモザイクが出来上がりました。



角から始めたり1列ごとにならべたりと並べ方も人それぞれです。



小さなタイルを並べるのはけっこう大変



素敵なモザイクができました。

小学生対象「金貨をゲット」

ローマ展では、胸像や立像をみたり、壁画をみたりしてローマ人やその生活を感じました。その後、粘土を使って、金貨を作り（ゲット）ました。金貨に表された皇帝の姿は、全て横顔のため、みんなも横顔に挑戦です。



金貨を鑑賞



横顔を作るのは難しそう

全ての回において、参加者も先生方も楽しく取り組むことができました。また、高校生の回で使ったトガは、小・中学生の回でも使用し、先生はすっかりローマ人になりきって、身につけたまま展示室へ行き鑑賞時の説明などをしていました。



写真左にトガをきた人がいます。

(R K)